

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長 関 係 局 長	教 育 長
6	永 谷 さ よ こ	立 憲 社 民		

#### 発言の要旨

- 1 桜島火山爆発総合防災訓練における避難促進施設（要配慮者利用施設等）について
  - (1) 今回の要配慮者等の避難訓練の評価
  - (2) 避難促進施設の総数と内訳
  - (3) 入所を伴う施設数と内訳
  - (4) 避難確保計画とは
  - (5) 事業所に寄り添った助言・勧告等を行うための本市の取組
  - (6) 犠牲者ゼロに災害関連死は含まれないのか
  - (7) 本市の要配慮者利用施設等の避難における課題と今後の方針
- 2 健康保険証の廃止の影響について
  - (1) マイナンバーカード手続について
    - ① 本市におけるマイナンバーカードの取得率と前年同月比較
    - ② 郵便局での電子証明書発行等手続の目標件数と受付件数（令和7年9月、10月、11月）
    - ③ 本庁窓口対応の業務内容の内訳と割合
    - ④ 本庁の特設会場の人員と場所は足りているか、時間外労働の月平均時間
    - ⑤ 更新のピークを迎える時期に向けた今後の対応
    - ⑥ コストが増え続けることについて本市の考え方
  - (2) 国民健康保険被保険者におけるマイナ保険証の登録率と利用率及び前年同月比較
  - (3) 後期高齢者医療被保険者におけるマイナ保険証の登録率と利用率及び前年同月比較
  - (4) マイナンバーカード電子証明書やカード自体の有効期限切れの場合の取扱い
  - (5) マイナンバーカード電子証明書有効期限切れによる国民健康保険の資格確認書の直近6か月の送付件数
  - (6) 8年3月末までの対応について広報しているか
  - (7) 今後の広報の在り方
- 3 救急情報キットについて
  - (1) 令和6年度末時点の救急医療情報キットの配布状況
  - (2) 過去3年間の配布数
  - (3) 本市の救急情報キットと既存のキットとの共通点、相違点及びその理由
  - (4) 普及のための周知広報
  - (5) 普及により目指すもの

6	永谷 さ よ こ	立 憲 社 民
---	----------	---------

#### 4 こどもの居場所づくりについて

- (1)本市のこども食堂の数
- (2)本市のこども食堂に対する令和6年度の支援内容と助成額
- (3)6年度の実績及び7年度の取組状況
- (4)こどもの居場所づくりコーディネーターを配置する考えはあるか
- (5)市営住宅の空き住戸利用事例
- (6)居場所づくりに市営住宅の空き住戸を利用することについての考え方
- (7)こども食堂が拠点として市営住宅を利用しようとする場合の要件と手続方法
- (8)市営住宅空き住戸をこども食堂として利用する場合の賃料減免に対する考え

#### 5 星ヶ峯地域の学校規模適正化について

- (1)学校規模適正化の考え方
- (2)小規模校のメリット、デメリット
- (3)学校規模適正化を進める上での留意点
- (4)児童に対する配慮についての考え方と具体的取組
- (5)平成30年、令和7年の星ヶ峯西小、星ヶ峯東小の児童数と今後の見込み
- (6)現段階で星ヶ峯地域に対して行っている説明
- (7)保護者や地域の住民に理解や協力を得るための本市の取組
- (8)地域住民の意見を幅広く取り入れるために、今後どのような取組が必要と考えるか

#### 6 (仮称)かごしま郡山風力発電事業について

- (1)県景観形成ガイドラインの基準に関する協議書類について
  - ①八重山は地域固有の景観ではないのか、市長の見解
  - ②上記判断の根拠、市長の見解
  - ③市景観計画に地域固有の景観についての規定や説明があるか、市長の見解
  - ④市景観計画の良好な景観の形成に関する方針に照らし、地域固有の景観ではないか、市長の見解
- (2)環境学習施設について
  - ①市立学校における行政財産目的外使用許可の事前相談は学校と教育委員会施設課へあったか
  - ②行政財産目的外使用許可申請の手続が全くなされないまま、環境学習施設の設置に合意したことに行政手続上の問題はないか
  - ③環境学習施設の設置は、地域に密接にかかわるため学校長は学校運営協議会を開催し、地域の意見を聞くべき立場にあると考えるが、地域の声を聞いているのか
- (3)県景観形成ガイドラインの調整手順に基づく説明会の開催について
  - ①説明会開催の要請を行わなかった理由、市長の見解
  - ②事業者の説明会要請を行うべき、市長の見解